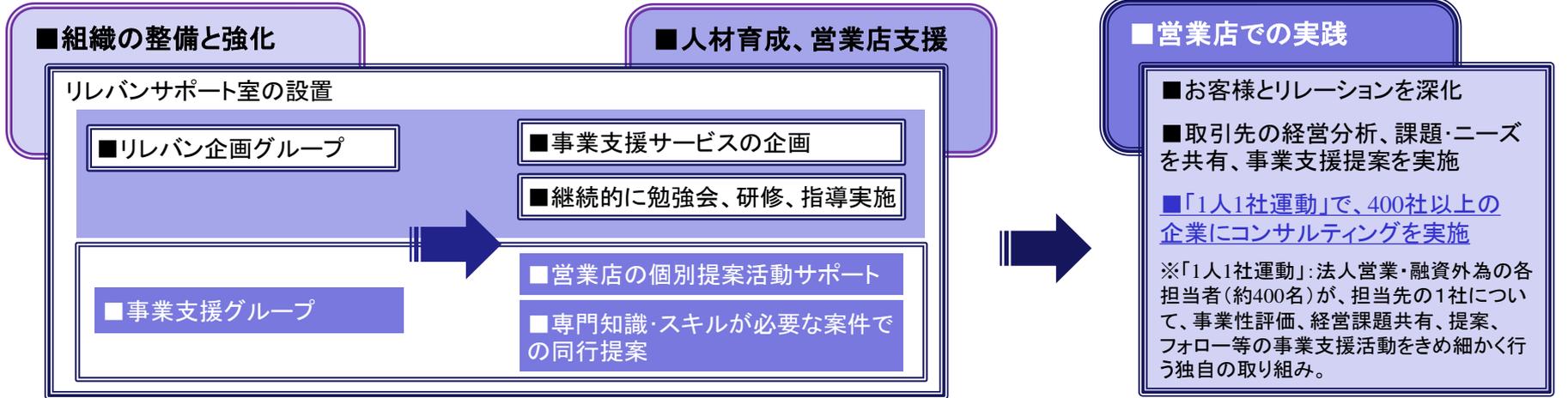


地域の経済・産業活動を支えながら、地域とともに自らも成長・発展していく好循環を目指した体制整備

■ 当行は、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業の内容や成長可能性などを適切に評価（事業性評価）し、融資やコンサルティングを行い、企業や地域の成長につながるよう、体制を構築しています。

■ コンサルティング機能を発揮するため、まず本部のリレバン部署を強化する目的で「リレバンサポート室」を設置しました。「リレバンサポート室」では、事業支援サービスの企画や、行員一人ひとりがリレバン活動を実践できるよう、人材育成などを行っています。

事業性評価の実施
【お取引先企業の事業内容や成長可能性などを適切に評価】



事業性評価に必要な行員の「目利き力」向上と、法人融資における積極的なリスクテイク

■ 融資やコンサルティングを行い、お取引先企業や地域の成長を支援し、地域金融機関の役割を果たしていきます。



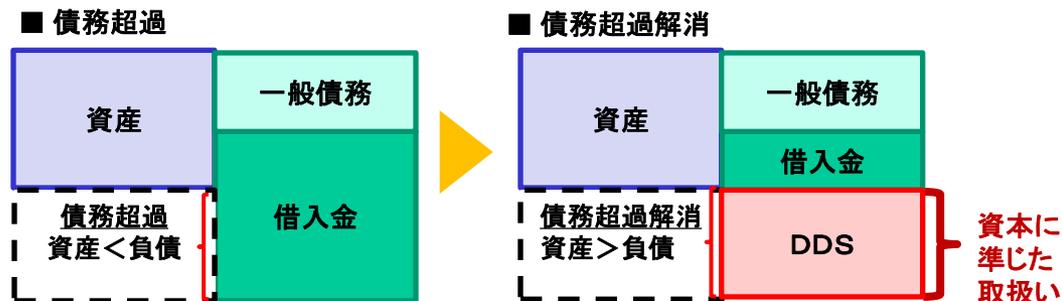
デット・デット・スワップ(DDS)の取り組み

- デット・デット・スワップ(DDS)とは、「資本性劣後ローン」ともいい、金融機関が既存の貸出債権を他の一般債権よりも返済順位の低い「劣後ローン」に切り替える手法のことです。
- DDS活用のメリット
 - ① 資金繰りが改善されます。
 - ② 「資本性借入金」を資本とみなすことで、財務内容が改善され、金融機関から新規融資が受けやすくなります。

<DDS取組実績>

平成25年度	3件
平成26年度	3件

【借入金の一部をDDSしたイメージ例】



中小企業再生支援協議会の活用

- 事業再生については、当行の各営業店と審査部内の経営支援グループが一体となって積極的に取り組んでいます。
- 島根県、鳥取県の中小企業再生支援協議会とも連携し、事業再生についての案件の持込や再生計画の策定を行っています。

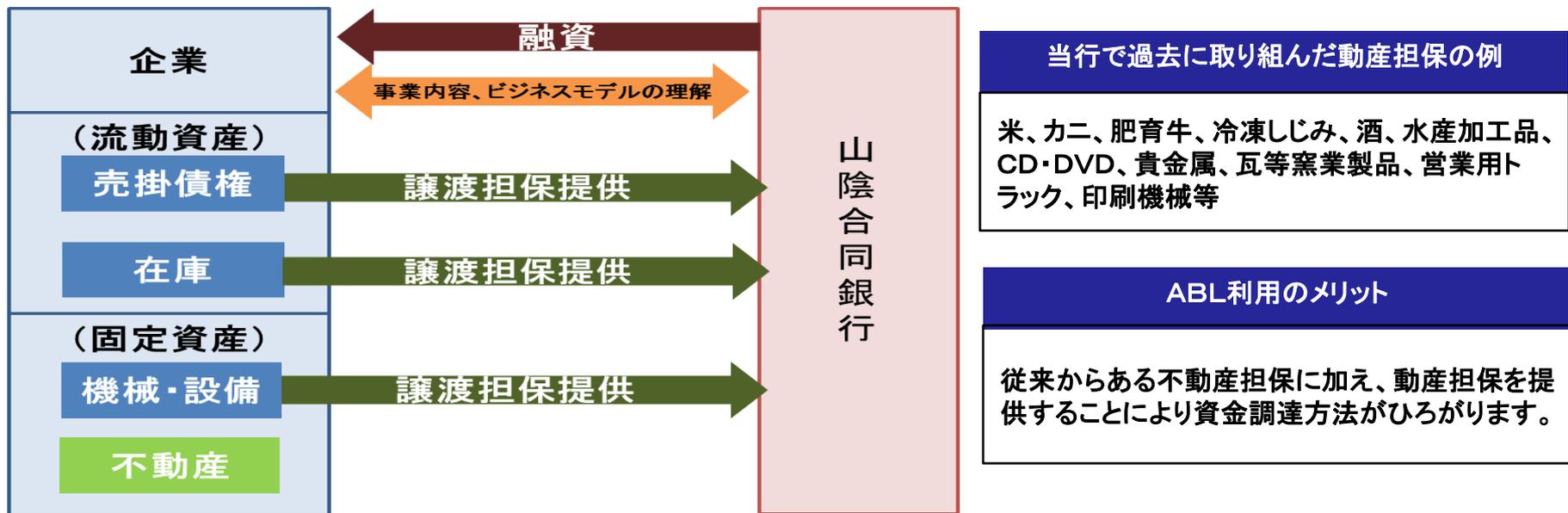
持込案件数 <島根県>	平成25年度	5件
	平成26年度	22件

持込案件数 <鳥取県>	平成25年度	2件
	平成26年度	8件

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資商品

動産担保融資 (ABL)

事業用の動産を活用した資金調達手段に積極的に取り組んでいます。



● 動産担保融資 (新規取扱実績: 件数、金額)

	件数	金額	うち信用保証協会の融資制度	
			件数	金額
平成25年度	19件	3,188百万円	2件	38百万円
平成26年度	14件	2,074百万円	4件	41百万円

(注) 新規取扱実績の金額は、債権、在庫、機械設備等を担保取得したものを対象としています。
契約形態が「融資当座貸越」の融資については、極度額ベースで集計しています。